

Wanderlust ワールド・トレイルズ

世界は歩いてみみたい「道」に溢れている。とサブタイトルに書かれています。世界中の名トレッキングコース32を選び、紹介した本です。

ゲシュタルテンというというのは個人名ではなく、ドイツ・ベルリンの美術関連書を刊行している会社名です。最初はゲシュタルテンという個人がこのトレイルを全部紹介しているのかと思います、凄いなあと思いましたが、何人かのスタッフが手分けして、歩いた記録を本にしたようです。

それにしても、選んだコースが魅力的。写真が素晴らしい。記録もシンプルでわかりやすい。取り上げているトレイルはヨーロッパが10、北アメリカが8、アジアが5、アフリカ4、オーストラリア3、南アメリカが2となっています。こんなに豊かなトレイルが世界中にあるんだと感動します。

最初のページに出てくる衝撃。MALERWEGというドイツのトレイル。ドイツにこんな豊かな森があるんです。この本では目もくらむような景色や文化の数々に出会うことができます。凍った川の道（インドラダック地方）・凍らない川の道（USAユタ州）・巡礼の道（カイルス・熊野古道）・泥の道（カナディアンロッキー）・フィヨルドの道（スウェーデン）など世界中の憧れの道が溢れています。ちなみに私が歩いたトレイルではアンナプルナサーキット、オートルート、キリマンジェロ、トンガリロ・アルパインクロッシング、熊野古道が載っていました。

最近、熊野古道に多くの外国人ハイカーが訪れるそうです。トレイルを楽しむのは、自然に触れることは勿論ですが、日本文化を楽しむことも大きな魅力だと思います。特に熊野古道は宿坊に泊まることもあります。日本の宗教や人々の暮らしに触れながら道を歩くことは外国の方々にとって貴重な体験ではないかと思えます。

四国のお遍路道はわが山岳会でも何人もの方が歩かれています、この道を取り上げてほしかったと思います。歩くことで私たちは自由を感じ、歩くことで自分の決断と行動の全てをコントロールしていることを実感できます。

この本はそんな気持ちを奮い立たせてくれます。お勧めです。

（深澤 裕）

